

社会教育委員会議 博物館資料
社会教育施設における博物館の役割

【博物館の役割】

①調査/研究活動

- ・ 土別の歴史に関する調査/研究
- ・ 土別の古い建築物の調査/研究
- ・ 土別生息の生物調査/研究
- ・ 土別の地層に関する調査

②教育普及活動（展示/講座）

- ・ 常設展示活動（歴史・自然・文化・芸術）
- ・ 特別展示活動（特別展・企画展・ミニ個展）
- ・ 主催講座（土別の歴史に関する講座、土別の自然に関する講座など）
- ・ 出前講座（市内学校、子ども会）

③収集・管理/保存

- ・ 市民からの寄贈
- ・ 調査等による採集

【土別市立博物館の特徴】

☆教育普及に力を入れた博物館

- 博物館の活動をとおして様々な体験してもらうことで、多くのことへの興味関心の窓口になってほしい。
- 人と人の交流の場や会話のネタになってほしい。

☆特別学芸員という制度

- 市民等で、特定の分野に詳しい方を特別学芸員として委嘱することで、教育普及活動で活躍してもらう。人材活用。教育普及活動の充実。

☆学芸員と来館者の距離が近い博物館（学芸員の顔が見える博物館）

- エントランスに学芸員作業用の PC を設置することで、来館者からの質問等に対応できるようにしている。
- 展示物だけでは分らない、博物館の面白さを伝えられるのは学芸員。
学芸員も博物館の一部

【博物館の役割】

博物館の活動や体験をとおして、「楽しかった」、「面白かった」というだけではなく、その後の生活をより良いものしていくことができるような、興味関心の種を播いていくことが博物館の役割。

そのうえで、地域の博物館として、如何に市民に貢献/還元できるかを考えていくことは重要。